

## 平成28年度第4回草津市健幸都市づくり推進委員会議事録

日 時： 平成28年12月15日（木）13時30分～14時30分  
場 所： 草津市役所2階特大会議室（ステージ側）  
出席委員： 三浦委員、藤田委員、小沢委員、梅木委員、河前委員、則武委員、  
橋口委員、神門委員、喜田委員、小枝委員、関川委員、廣田委員、  
村上委員、福井委員、寺尾委員  
欠席委員： 塚口委員、北川委員、樋口委員、吉川委員、五十嵐委員  
事務局： 橋川市長  
【健康福祉部】太田部長、富安理事、西総括副部長、岡本副部長、  
小川副部長  
【都市計画部】田邊部長 【環境経済部】松下総括副部長  
【健康福祉政策課】織田参事、野々村専門員  
【健康増進課】田中課長、田附専門員  
【都市計画課】松尾課長 【草津未来研究所】中村参事  
傍聴者： 2名

### 1. 開会

---

#### 【橋川市長】

年末のお忙しい中、ご出席賜りありがとうございます。第4回の開催となり、草津市健幸都市基本計画案をとりまとめる段階となりました。皆様からいただいた貴重なご意見は、私を本部長として各部長級職員で構成する本部会議でも議論し、計画案に反映いたしました。本日、計画案を当委員会に諮問させていただき運びとなったことに対し、厚く御礼申し上げます。

先月21・22日には、全国で健幸都市の実現を目指す自治体の集まりであるスマートウェルネスシティ首長研究会に参加し、先進的な事例を拝見することができました。本市においても、健幸都市の取組を広く根付かせ、市民の誰もが生きがいをもって健やかに暮らし続けられるまちにしていかなければならないと改めて感じたところです。本日も積極的なご議論をいただければと思います。結びにあたり、皆様のご健幸を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

### 2. 諮問

---

<市長から委員会へ諮問>

#### 【事務局】

<草津市市民参加施行条例に基づき、傍聴者について報告>

<草津市附属機関運営規則に基づき、委員会が成立していることを報告>

### 3. 議事

---

#### 1) これまでの取組報告について

##### 【事務局】

<資料1に基づき説明>

##### 【主な質疑・意見】

特段の大きな指摘なし。

#### 2) (仮称)草津市健幸都市基本計画案について

##### 【事務局】

<資料2・参考資料1に基づき説明>

##### 【主な質疑・意見】

##### 【委員】

計画の全体目標に使用する市民意識調査をいつ実施し、目標数値を確定するのか。

##### 【事務局】

毎年度市が実施している市民意識調査に、今年度から健幸に関する設問を追加した。アンケートは12月中に回収予定であるため、1月から2月初旬に結果が出る予定。今回の結果を基に目標値を設定したいと考えている。

##### 【委員長】

答申には間に合わないということか。

##### 【事務局】

答申についてはこのままでお願いしたい。3月開催予定の次回会議では、目標値が適切かどうかについてもご議論いただきたい。

##### 【委員】

病気になったとき、草津市ではどれだけ安心して病院にかかれるのか。医療についても計画に含められないのか。

##### 【事務局】

医療については、適切な医療が適切な形で提供される環境整備を、県と連携して進めているところである。本計画では、地域で安心して医療・介護サービスを受けられる基盤整備として地域包括ケアシステムの推進・実現を掲げており、その1つとして適切な医療の体制整備も含まれると考えている。

##### 【委員】

医療の大枠については、県が主に責任をもっている。県全体の医療となると医療計画があり、救急医療も非常に大きな柱となっている。県内のどこでも必要な救急医療が提供される体制が目標になっているが、具体的な部分までは踏み込めていない。

##### 【委員】

大切なのは、各自が主治医をもつことである。確かな主治医をもっていれば、相談して指示に従うことができる。

【委員長】

本計画では、医療に関しては地域包括ケアシステムの構築・実現とさせていただければと思う。

【委員】

実行するための具体的な内容が記載されていないように思う。市主催のイベントが開催されて草津市の健幸度があがるというような、目玉になるものはないのか。

【委員長】

本計画は、かなり具体的な計画だと思っている。何か一つの目玉があって皆さんの健康度がアップするものではないと思う。

【委員】

基本計画だけでなく、実行計画を立てなければいけない。どういう手順で、誰がいつまでに何をするのが今後必要になってくる。

【事務局】

各事業には担当課名を記載しており、各担当課が責任をもって事業を進めていくことになる。P D C Aサイクルを回しながら、実効性を確保していきたい。

【委員長】

健幸都市づくりに関連する事業にはロゴマークを付ける等、市民にも分かりやすいように示していくことが大事なのではないか。

【委員】

予防・運動に関しては、前回意見を述べた部分について、細かく記載できている。健康推進員が取り組んでいる内容をコラムとして入れているのも、市民への情報提供として良い。各事業の担当部署が掲載されている計画書はあまりなく、良い取組と感じた。個人的には、具体性のあるものとなっていると思う。

【委員】

大変クリアにまとまったと思う。次の段階に進めていくのは大変だが、このまうまく推進できればよい結果につながると思われる。

【委員】

継続事業は従来のまま継続される可能性があるので、しっかりと健幸都市を意識した事業実施を目指してほしい。

【事務局】

継続事業についても、健幸都市づくりの観点でP D C Aサイクルを回していくことになるので、これまでと同じでよいとは考えていない。本委員会においても同様に御議論、御指摘いただきたい。

【委員】

P D C AサイクルのP（計画）とD（実行）はできると思うが、C（確認）をいつ、誰が、どのようにするかが重要である。評価基準等を作成段階で設定しておくほうがよいのではないか。

【事務局】

内部の本部会議と本推進委員会で、確認をしていきたいと考えている。

**【委員】**

広範囲の事業を網羅しているのです、全て実行できるのか不安がある。今後、当委員会がどのように携わっていくのか分からない。スケジュールと目標を設定して進めていく方がよいのではないかと。

**【事務局】**

各事業の実施時期等を記載するのは、予算との関係もあり現時点では難しい。本計画は6年計画であり、本委員会を毎年数回開催し、進捗状況等を確認いただければと思っている。次回の会議でどこまで示せるかは分からないが、来年度の実施事業について一定お示しできればと思っている。

**【委員長】**

これまで健康の対策は、健康を担当する部署だけが行ってきた。今回は、市長がリーダーシップをとり、市全体で健幸都市づくりに向けて動くため、非常に多くの課が関わり、事業も多くなっている。先進的な取組のためこのようになるのかと思う。

**【委員】**

参考資料2の「しごとの健幸づくり」の文章について、大学や企業と何を連携するのかが分かりにくい。「取組」の前に「健康に関わる」という文言を追記してほしい。

3) 健幸都市くさつのロゴマークについて

**【事務局】**

<資料3に基づき説明>

**【主な質疑・意見】**

**【委員】**

ウォーキングをしている人にポールを持たせてほしい。

**【事務局】**

検討はするが、普通に歩く人もいればノルディックウォークをする人もいるので、現時点では統一して歩く人で表現している。

**【委員】**

印刷の加減かもしれないが、もう少し鮮やかな色にしてはどうか。

4. 閉会

---

**【事務局】**

<次回日程について説明>